

日本語に通じな児童生徒に 向けた音声教材の提供が可 能となりました！

＊議員立法により「教科書バリアフリー法」改正

＊2024年7月19日より施行された！

＊NaDのネットワークが役立ちました！

＊皆様、ご協力有難うございました！

教科書バリアフリー法の改正

・以下の音声教材が使えます！

①マルチメディアDAISY教科書

②音声ペン（茨城大学）

③AccessReading（東京大学）

④UD-book（広島大学）

⑤BEAM（NPO法人エッジ）

⑥UNLOCK（愛媛大学）

⑦PDF拡大図書（慶應大学）

それぞれのお薦め

→ 小中教科書

高校教科書



音声教材の概要

※令和6年度「音声教材の効率的な製作方法及び普及促進に関する調査研究」
受託団体によるもの

マルチメディアデジー教科書 (公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会)
<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

○主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能 (オンライン) で使用する。
音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。
音声は肉声及び合成音声。視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。
小学校・中学校の教科書を中心に作成。
○Windows, iOS, Android, Chromeで使用可能。
○利用者実績: 24,560人 (令和5年度)



ペンでタッチすると読める音声付教科書 (茨城大学)
<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

○主な特徴:
パソコンやタブレット等のICT端末は使わず、紙冊子と音声ペンで使用する。
紙冊子は通常の教科書と見た目がほぼ同じで、鉛筆等で書き込み可能。
持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。
音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。
音声は肉声。小学校・中学校の国語・社会の教科書を中心に作成。
○利用者実績: 976人 (令和5年度)



AccessReading

(東京大学先端科学技術研究センター)
<https://accessreading.org/>

○主な特徴: Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用する。
本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。
文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。
小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。
○Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。
○利用者実績: 165人 (令和5年度)



UD-Book

(広島大学)
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

○主な特徴: 専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能 (オンライン) で使用する。
固定表示 (原本教科書に似せた表示)・行移表示 (文字だけの表示) の両方で、テキストを合成音声で読み上げる。固定表示・行移表示を同時に表示することや、固定表示では見開き表示をすることが可能。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。
小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
○Windows, iOS, macOS, Chromeで使用可能。
○利用者実績: 160人 (令和5年度)



音声教材BEAM

(NPO法人エッジ)
<https://accessreading.org/>

○主な特徴: Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用する。
本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。
文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。
小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。
○Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。
○利用者実績: 165人 (令和5年度)



UNLOCK

(愛媛大学)
<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

○主な特徴: パソコン・タブレット端末か音声ペンでの利用を選択可能。
音声ペンの場合、紙の教科書に再生用シールを貼って使用する。
パソコン・タブレット端末の場合、音声データ (MP3) とテキストのPDF・EPUBを提供。
音声は合成音声。児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類 (男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。
小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
○利用者実績: 75人 (令和5年度)



日本語に通じない児童生徒とは？

＊ **日本に居住する** 外国にルーツを持つ児童生徒 (外国籍、日本国籍)

← 最新文科省調査で、**7万人を超える！**

＊ 日本語に困難を抱える **帰国子女**

＊ **海外に居住する** 日本人学校に通う日本語に困難を抱える児童生徒

外国人児童生徒のニーズ

- ディスレクシアと良く似た読み困難、すなわち、文字判別、文字記憶、読みの流暢性、内容理解などでの困難を抱えている。その理由は、1) 日本の漢字の読みの複雑性、2) ひらがな、カタカナなど文字種の多様性、3) 縦書きという世界的に見て珍しい書式が、しかも横書きに交じるなどの難しさがある。4) また、日本語は単語が繋がって書かれているため、「文節分け」が困難な子どもたちも多い。
- 非漢字圏から来た外国人の子どもたちにとっては、漢字の習得にはかなりの時間がかかる。
- 外国人児童生徒たちの親は仕事のために家に不在だったり、また、帰宅後も教育に割く時間のゆとりがなかったりする場合が多い。日本語が分からないので、日本人の親であれば簡単に教えてやれる内容でも、子どもたちに教えることもできない。

申請の仕方

- 個別申請（支援対象者、読み困難状況、日本語能力評価（評価者名）、母語）
 - ← 支援者も申請できる！
- 教育委員会を通じて申請
 - ← 学年別ID、パスワードの発行
 - ← 年度末に使用児童生徒の情報を教育委員会に報告
- 申請上の注意事項
 - なるべく、全科目を申請！
 - 該当学年より下の学年の教科書を登録できる！

「日本語に通じない児童生徒」の登録方法

■ 生徒情報の画面の「障害等の区分」にて、「N.日本語に通じない」にチェックを入れます。

障害等の区分（0～Nを選択し（複数選択可能）、当てはまらない場合は、
☐ I. 発達障害（学習障害、自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害）
☐ J. 知的障害
☐ K. 視覚障害（弱視含む）
☐ L. 聴覚障害（難聴含む）
☐ M. 肢体不自由
☒ N. 日本語に通じない
☐ O. その他

■ 「母語」「JSL評価」「DLA実施者」を入力します。いずれの項目も入力必須です。

N. 日本語に通じない

日本語に通じないに✓を付けた場合は、次の3項目の入力が必須です。

母語※

JSL評価※

DLA実施者※

項目	説明
母語	該当児童生徒の母語を20文字以内で入力してください。 入力例：英語、中国語、スペイン語等
JSL評価	JSL評価参照枠※ 1～6から選択してください。 1. 学校生活に必要な日本語の習得がはじまる 2. 支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む 3. 支援を得て、日常的なトピックについて理解し、学級活動にも部分的にある程度参加できる 4. 日常的なトピックについて理解し、学級活動にある程度参加できる 5. 教科内容と関連したトピックについて理解し、授業にある程度の支援を得て参加できる 6. 教科内容と関連したトピックについて理解し、積極的に授業に参加できる ※DLAによる評価枠。その他の方法により日本語の力を判定している場合は、相当するステージを選択してください。 DLAについての詳細は下記文科省のページをご参照ください。 外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA

■ 利用する生徒の情報(必須)：1名につき、1枚必要です。必要な生徒分コピーして提出ください。

使用者名： (イニシャル等も可)	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他 氏名：
学校名：	
学年：	<input type="checkbox"/> 小学 年 <input type="checkbox"/> 中学 年 <input type="checkbox"/> 高校 年
在籍：	<input type="checkbox"/> 通常学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他：
利用場所：	<input type="checkbox"/> 通常学級 <input type="checkbox"/> 通級指導等 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 塾 <input type="checkbox"/> その他：
読みの困難さ：	<input type="checkbox"/> A. 逐次読みになってしまう <input type="checkbox"/> B. 勝手読みをしてしまう (1つ以上選択) <input type="checkbox"/> C. 特殊音節（きゃ・ぎゃ等）を読むのが苦手
当てはまらない場合は 特記事項欄に記入)	<input type="checkbox"/> D. ひらがなが読むことが苦手 <input type="checkbox"/> E. 単語の切れ目が分かりづらい <input type="checkbox"/> F. 漢字を読むのが苦手 <input type="checkbox"/> G. 集中して読むのが苦手 <input type="checkbox"/> H. 文の内容を理解するのが苦手
特記事項：	
母語：	
日本語の力の段階：	JSL 評価参照枠 準 ※右記は、DLA による 評価枠。必ずしも DLA による判定を必要とする ものではないため、そ 他の方法により日本 語の力を判定している 場合は、相当するス テージにチェックをし てください。 日本語の力の判定 実施者： (該当児童生徒の日本 語の力を判定した方 について記入してく ださい) 氏名： 所属・職名： 使用者との関係： 利用状況： <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 利用経験あり

■ DLA および JSL 評価参照枠については、下記ページをご確認の上、ご記入ください。
<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/dla.html>

教科書

マルチメディアDAISY教科書・
音声教材

学習者用デジタル教科書

教材

デジタル教材

教科書バリアフリー法
(2008年)

無償・読み困難な児童
生徒 & 日本語に通じ
ない児童生徒

GIGAスクール構想
(有償 & 無償配布)

多様な学習アプリ
(有償・無償)

OMELET・Drop Talkなど制
作アプリも

学習者用D教科書について: <https://www.youtube.com/watch?v=OIM0qP5kotU>

4

学校での導入・活用に向けた戦略

- QRコードによる個別提供がおすすめ！
- ブラウザーで読める！
- chatty box（リハ協開発中）を使って
Wi-Fi環境がなくても自宅でも再生！
- 日本語教育？ 通級教室？
通常教室？ 放課後学び？
←これらの導入方法は、今後の課題！

学校での導入・活用に向けた戦略

- | | | |
|--|---|---|
| 1（学校生活に必要な日本語の習得がはじまる） | → | DAISY絵本（著作権フリー）
でデジタル図書に慣れる |
| 2（支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む） | } | DAISY国語教科書
活用できる単元から
低学年教科書から
該当学年教科書へ |
| 3（支援を得て、日常的なトピックについて理解し、学級活動にも部分的にある程度参加できる） | | |
| 4（日常的なトピックについて理解し、学級活動にある程度参加できる） | } | DAISY教科書を
教科教育にも
活用！ |
| 5（教科内容と関連したトピックについて理解し、授業にある程度の支援を得て参加できる） | | |
| 6（教科内容と関連したトピックについて理解し、積極的に授業に参加できる） | | |